

# さくらだより



令和8年1月8日発行  
大東市立住道南小学校 学校通信  
発行者：校長 田村 ひとみ  
大阪府大東市末広町 16-1  
TEL:072-871-0201

学校教育目標「すべての児童がいのちの尊さとそだちの喜びを実感できる教育」をめざします  
住道中学校区で「自分の未来を考え、実現に向けて行動できる子ども」を育てます

## 新年明けまして おめでとうございます。



本年もよろしくお願いいたします。

3学期は短い学期ですが、学習発表会や5年生のスキー学習などの行事があります。6年生は3月に卒業式。それにむけての全校行事もいろいろあります。今年は思ったよりも冷え込みの厳しい年明けとなりましたが、体調を整え、気持ちもきりっと引き締めて臨みたいと思います。

## 「学校で勉強してできるようになりたいこと」第1位は・・・！

先日の学校教育自己診断の児童アンケートの上記の質問への回答によりますと、「人を助けられるようになりたい」「いい職業につきたい」「苦手なことができるようになりたい」といった将来に向けた成長の願いも多くみられました。夢や希望があって、とてもうれしく感じました。

ところで、3～6年生の回答で一番多かったのは「算数(計算など)ができるようになりたい」で、その次が「国語(漢字・説明文など)ができるようになりたい」でした。

どちらも授業時間数の多い教科なので当然かもしれません。将来の夢をかなえるためにも頑張ってもらいたいです。



## 「自分の力」にするためには 興味を持って、正しいことを、 何度も練習することが必要。

世の中にはいろんな便利な道具や興味深い情報があふれています。パソコンでAIを使えば、簡単にいろんな成果物を作ることもできます。しかし、算数や国語に限らず、知識や技術を本当に自分の身につけるためには、あまり面白いと感じなくても、そのことに向き合って繰り返す「練習」が必要です。

## 「学習」を「習慣」にする

スポーツや習いごとともそうですが、楽しむだけでは身につけません。好きで始めたことでも、練習をしなくなることは多いですね。それを続けていけるようにするためには、「習慣化する」ということがとても有効です。でも、その子に合った課題を出すというのが難しいところです。

ところで、本校では今年度、2年生以上で毎週、AIドリル(キュビナ)の宿題を出すことにしています。画一的な宿題では、子どもたちの一人ひとりの力に合った課題を出すことは難しいですが、キュビナは、それぞれの子どもの到達度に合わせた出題と、即時回答、誤答へのアドバイス、類題出題などができるものです。世間には有料で同じような通信教育サービスもありますが、キュビナは市で導入されているので、通信料以外は無料です。



週末に限らず、時間を決めてこのキュビナでの学習を、歯みがきのように生活の一部として習慣化してみてもどうでしょうか。お家の人と一緒にしてもいいと思います。もちろん、他によい課題が見つければ、それでもいいのです。「習慣として学習をする」ということが、結果として子どもたちの願いをかなえることにつながります。

## 「楽しい学校」でありたい。かつ、 「成長できる学校」でありたい。

授業においても、同じことが言えます。楽しいに越したことはありませんが、楽しくないことも避けて通れません。これを乗り越える力をつけることが大事です。



子どもたちが「やる気」を出して、正しい「知識」に出会い、「根気」をもって学びに向かえる学校であるよう、本年も引き続き職員とともに努力してまいります。